

公表:令和 4年 3月 1日

事業所名児童発達支援・放課後等デイサービスモモの

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			活動により場所の設定を行っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		必要とされる配置数に加え保育士、児童指導員をそれぞれ配置している。フルタイムの保育士、児童指導員が必要	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	4		構造化し本人にあった生活空間を提供しているが、玄関に段差や階段がある。活動スペースは整備安全を確保している。学習する空間と療育室を内容で区別できるよう工夫している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			消毒をこまめに行い安心して過ごせる環境を確保している	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1		毎日のミーティングや月数回の振り返りの中で目標の評価見直しを行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		保護者へのアンケートを配布。業務や支援内容の改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		アンケート結果にもとずき自己評価を行っている。ホームページの公開を行なっている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	1		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2		事業所内研修として虐待防止研修を行っている。その他研修の案内の提示にとどまっている。おがるの研修の機会はあるが職員対象の研修の機会がもう少し	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			日々のかかわりからアセスメントを行い保護者のニーズも取り入れた計画書を作成している。スタッフ間で一人一人のことを話し合い子供の状況を把握するよう心掛けている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		他機関で行われた検査結果等を保護者から共有していただき支援の参考にさせていただいている	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			日々の支援やモニタリングを通して児童発達支援ガイドラインに基づいて計画書を作成するよう努めている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		毎月全員で参加している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			日々の療育の中で適宜個別活動と集団活動で組み合わせている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		一日の流れをノートと口頭で確認している。努力はしているが打ち合わせの時間が十分ではない日がある	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		気づいた点や改善点など報告しあっている。送迎などで十分ではないときもある。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			その日の支援内容を記録にとり改善や配慮等ひつような情報を共有している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		事業所の管理者、児童発達支援管理者が参加している。今後は直接支援職員も参加できる体制を整えていきたい。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1		幼保等の関係機関と情報共有を行い支援の内容改善を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2			現在医療的ケアや重心の方の受入実績は無し。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			送迎時などの時間に子供の様子などを伝え合っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			移行支援対象児童は無し	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1		札幌市地位受けて支援のアドバイスを受けている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	公園などで交流している	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	1	1	情勢に伴い参加できていない	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時にその日の様子を伝えている	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2			
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			見学時や契約時に詳しく説明を行なっている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			保護者のニーズも取り入れた計画書を作成し署名捺印をもって同意を得ている。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	対面では難しい情勢であるコロナのこともあり実施してないのでは	
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			窓口を明記し迅速に対応している。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		定期的な会報の発行はしていないが情報は発信は行われている	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			家族に対しては契約時に個人情報の保護の限定に関する承認を得ている。	
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	1	地域の方も参加できるかき水パーティーなどを開催しました。コロナや防犯上の問題をクリアにして今後行っていければよい	
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2		防犯訓練、ぼうさいくんれんを月2回実施している。マニュアルの保護者への周知の必要がある。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5			契約時にフェイスシートの記入をしていただきてんかん発作アレルギ一等の有無を確認。職員への周知をはかっている	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6			契約時にフェイスシートの記入をしていただきてんかん発作アレルギー等の有無を確認。職員への周知をはかっている	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		作成書は分からないがスタッフ間で共有している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止研修を行なっている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	1		該当している児童無し	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。